

令和7年度 第5回 日野市男女平等推進委員会 要点録

日時	令和8年1月28日(水) 午後6時30分～8時30分
場所	多摩平ふれあい館 集会室3-1、2
出席者	林委員、橋本委員、山田委員、瀧澤委員、田中委員、清水委員、寺田委員、飯田委員、事務局、(株)名豊 大川氏
遅刻者	—
欠席者	本間委員、野原委員
次第	<p>1 議題</p> <p>(1) 第5次日野市男女平等行動計画素案について【冊子】【資料1】</p> <p>(2) 第5次日野市男女平等行動計画評価方法について【資料2-1～2-4】</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 令和8年度日野市男女平等推進委員会開催スケジュールについて</p> <p>(2) 市長への答申について</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【冊子】第5次日野市男女平等行動計画素案</li> <li>・【資料1】第5次日野市男女平等行動計画素案新旧対象表</li> <li>・【資料2-1】第5次日野市男女平等行動計画評価の流れ・変更点</li> <li>・【資料2-2】担当課評価入力シート</li> <li>・【資料2-3】全事業評価結果</li> <li>・【資料2-4】重点施策評価結果</li> </ul>
開会	司会より会議に先立つ説明。
次第 1-(1)	第5次日野市男女平等行動計画素案について コンサルより説明。【冊子】【資料1】
質疑・意見	<p>【意見】〈委員〉</p> <p>47 ページの方向性のうち、2つ目の◇の2行目にて「学習機会を充実します」という表現があるが、「充実させます」とした方が適切だと考える。</p> <p>【意見】〈委員〉</p> <p>42 ページの基本目標4「男女平等参画の推進体制づくり」の方向性について、「庁内でも率先して男女平等を推進し、職員一人ひとりが意識を高めながら、(職員一人ひとりが)安心して働ける環境づくりをめざします。」という表現では、市民に向けた施策推進の姿勢が弱いと感じる。第4次計画の69 ページに記載されている施策の方向性は「職員一人ひとりが男女平等参画の実現に向けた意識を持ち、効果的な施策推進を図ります。」と書かれており、市民に向けた施策推進の姿勢が明確である。そのため、第5次計画でも同様に、庁内職員の意識向上に加え、市民に向けた施策推進の方向性を補足する表現を加えたほうがよいと考える。</p>
次第 1-(2)	第5次日野市男女平等行動計画評価方法について 事務局より説明。【資料2-1～2-4】
質疑・意見	【意見】〈委員〉

前年度の評価結果が分かる情報が一覧表にはないと思う。この一覧表は継続して使用することを考えると、各事業について前年に担当課がどのように取り組み、どのような評価を受けたのかが分かる情報があると、比較や参考にしやすくなるし負担も減るのではないかと感じた。

【回答】〈事務局〉

ご指摘の通り、現段階では前年度評価の情報が一覧上に見えない構成となっている。前年度の評価を一覧表の横に併記することで、参考にしたり比較しながら評価できるようになるのではないかと考える。評価を行う担当者の負担も減ると思うので、今後どのような形で反映できるか、検討したい。

【質問】〈委員〉

資料2-3内の「パパママクラスでの周知・啓発」について、具体的な内容や現況を確認したい。

【回答】〈事務局〉

現在資料に記載されている内容は、第5次計画を策定するにあたり、子ども家庭支援センターから回答を得た内容を例として記載しているものである。現時点では、事務局としても詳細な状況を把握できていない点、ご了承いただきたい。

【質問】〈委員〉

資料2-2のExcel表について、フィルター機能を使用することにより視認性が高まり、非常に分かりやすくシステムチックになると感じた。また、資料2-1に示された第4次計画から第5次計画への評価方法の変更点について、担当課評価・本部評価・市民評価のそれぞれにおいて、どのような効果が期待されているのか、また何を目的として評価方法を変更したのかを確認したい。

【回答】〈事務局〉

全体的により効率的で実効性のある仕組みに改善したいという意図がある。担当課評価について、第4次計画までは年度ごとに目標を設定し、その達成度を評価していたが、第5次計画では実施計画をたてる形に改めた。目標という言葉だと曖昧になりがちなため、実施計画として具体化することで、より実効性の高い取り組みにつながると考える。計画の4つの基本目標を達成するための年度ごとの実施計画を立てるという意識を担当課に持ってもらうことが狙いであり、重要な変更点である。

本部評価について、第4次計画では複数課にまたがる事業の状況が見えにくく、本部評価員が評価しづらい課題があった。第5次計画では重点施策専用のシートを作成し、各課の評価を一覧で把握しやすくすることで、達成状況を踏まえた評価がしやすくなると考えている。この改善によって、市民評価でも評価しやすくなると考える。しかし、評価結果を担当課がどのように把握し、次年度の実施計画に反映するかが重要である。評価結果を庁内展開する際、「このページを見てほしい」と示しやすい構成にするたことで、改善に活かしやすくなり、評価サイクルをより効果的に回していけると考えている。

**【質問・意見】〈委員〉**

事務局からは、目標という文言を実施計画に改め、具体性を高める意図があるとの説明があったが、担当課が実施計画を記入する際の具体的な記載方法や基準は準備されるのか。PDCA サイクルを効果的に回すためには、具体的な達成基準が明確でなければ、市民評価委員が評価することは難しく、内容が抽象的なままでは、客観的に達成状況を判断しにくい。担当課がどれほど具体的かつ定量的に記載できるかが重要であり、「このような基準で実施計画を作成してほしい」という指針が必要ではないかと考える。また、本部評価について、第4次計画ではすべての施策を対象に数値化して評価していたが、第5次では重点施策のみに絞られている。計画全体の進行管理を担う立場であるにもかかわらず、重点項目に限定してよいのか疑問がある。また、今回の評価方法の見直しについては、委託業者からの助言を受けて行ったものなのか確認したい。

**【回答】〈事務局〉**

実施計画の記載方法や基準については、現状そこまで検討が至っていない。ご指摘のとおり、数値目標など、めざす姿を具体的に示したうえで計画を立ててもらい、達成状況を評価することは重要だと認識している。事業によっては点数化が難しいものもあるが、数値目標の設定が可能なものについてはできるだけ設定するよう求めるなど、事務局として基準を示す必要があると感じている。本部評価については、第4次計画では施策全体を対象に評価を行っていたが、実際にどの程度適切に運用できていたかは改めて検証の必要性を感じている。重点施策に絞った形での評価に変更したとしても、本部評価が計画全体の進行管理を担う役割であることに変わりはないが、変更については、事務局で再検討したい。評価方法見直しに関しては、委託業者からの助言はなく、事務局内で検討した結果である。

**【意見】〈委員〉**

第5次計画で出ている担当課以外にも、実際には男女平等の推進に関わる部署は多数存在する。本部評価にて全体を見渡しながらか適宜対応していく仕組みを整えなければ、実効性が担保されるのか懸念があるため、ぜひ検討していただきたい。また、資料を見ると、「現時点の課題」を記載する欄は存在しないが、令和8年度の実施計画を作成する際に、現時点の課題を担当課はどのように把握し、反映していく想定でいるのか。

**【回答】〈事務局〉**

令和8年度の実施計画の設定作業と並行して令和7年度実施した事業の評価を担当課に依頼する予定である。したがって、令和7年度実施した事業の評価で明らかになった反省点や課題を、そのまま第5次計画の実施計画を設定する際に活かしてもらえると考えている。担当課にはその旨を明確に伝え、課題を踏まえた形で令和8年度計画を作成してもらうようにする。

**【質問】〈会長〉**

	<p>各部署が多様な計画を立て、評価やチェックを行っている現状を踏まえると、チェック項目が増えることで、かえって実際の行動に十分な力を割けなくなる恐れがあると感じている。そのような意味では、重点施策に絞って評価を行うという考え方は、計画を着実に進めるうえで必要な側面もあるのではないかと考える。</p> <p>ちなみに、日野市の計画はどのくらいあるのか伺いたい。</p> <p>【回答】〈事務局〉</p> <p>市には多数の個別計画があり、部門ごとに毎年PDCAサイクルを回しているが、市長をトップとする会議で評価を行う計画は限られており、4つか5つくらいかと思う。それ以外の計画は、部長をトップとした個別の評価体制で運用されている。</p>
次第 2-(1)	(1) 令和8年度日野市男女平等推進委員会開催スケジュールについて 事務局より説明。
次第 2-(2)	(2) 市長への答申について 会長より説明。
	<p>【質問】〈会長〉</p> <p>答申時に、委員の意見を集約して伝えたいと考えているため、何か意見がある委員は出してほしい。</p> <p>【意見】〈委員〉</p> <p>乳がん検診および子宮がん検診の受診率が伸び悩んでおり、現状の低い数値のままではどうしたらいいかと感じている。受診率向上のためには、啓発活動やキャンペーンの実施が必要ではないかと考えており、取り組みの強化をお願いしたい。</p> <p>【意見】〈委員〉</p> <p>前市長時代はイクボス宣言が行われていたが、現市長は男女平等参画や働き方に関してどのような考えを持っているのか、方針を公開していただきたいという思いがある。</p> <p>【意見】〈委員〉</p> <p>「イクメン」という言葉が使われる一方で「イクママ」とは言わない点についても疑問の声を聞くことがある。</p>
次回	<p>&lt;事務局より説明&gt;</p> <p>日時：令和8年4月予定</p> <p>会場：多摩平の森ふれあい館 集会室3-1、3-2</p> <p>次回会議の日程については、調整のうえ、2月上旬頃までにメールでご案内する予定。</p>